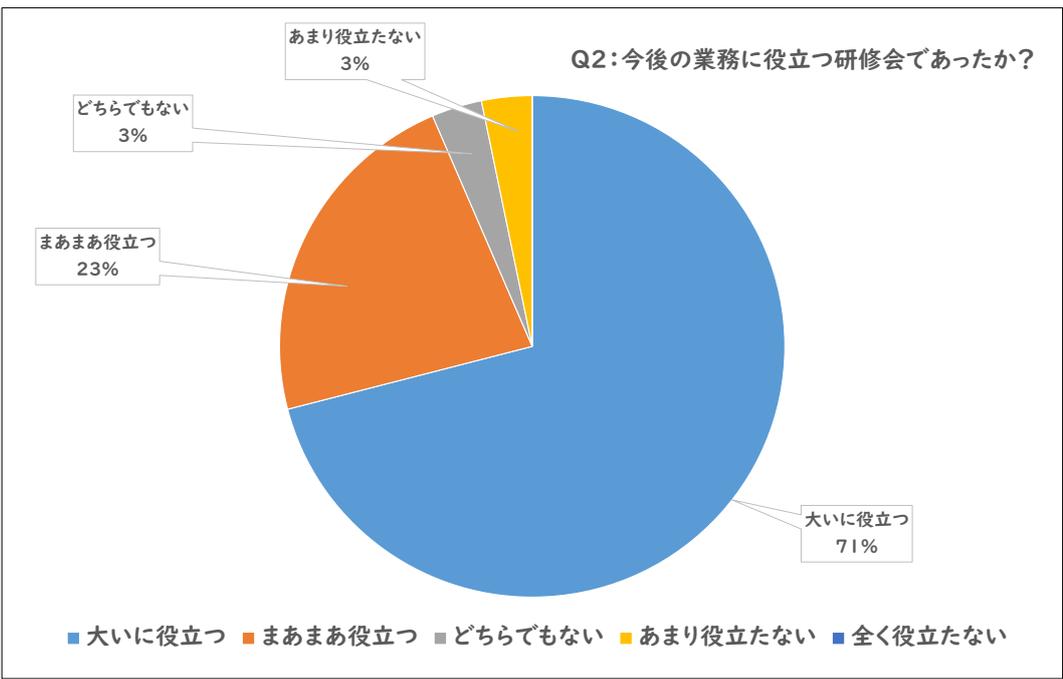
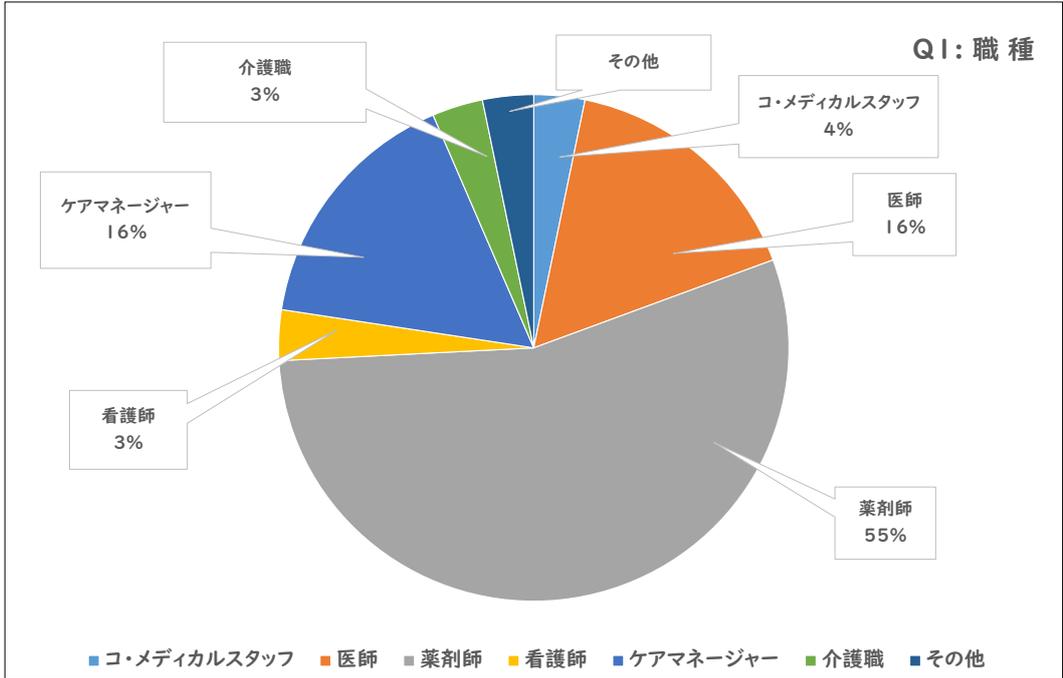


【令和7年度 多職種連携精神疾患研修会】

- 開催日 令和8年3月4日(水) 19時~20時30分
- テーマ 「認知症ケアの設計MCI段階からのACPと“支えるひと”のメンタルヘルス」
- 当日参加者 68人 (Zoom54人 YouTube13人) 参加率79%(申し込み 86人)
- アンケート回答数 31人 回答率 45.5%



●参加者からの感想

- ・MCI(認知症含む)を医療的な見解、将来の治療、薬のことなど明るい将来が見えるような現実を知ることができ良い機会でした。なかなか医師の講義を聞く機会は少ないので、とても良いきっかけとなっています。
- ・得た知識を自分の知識とし、担当地域で武器としていきたい。
- ・わかりやすい内容でした。
- ・認知症患者やその家族の方と接するにあたり非常に参考になる研修会でした。
- ・明日からの業務に役立てていきたい。
- ・認知症の専門医の方から患者さんに対するアプローチ方法を聞いて良かったです。
- ・ACPについて実施するタイミングの難しさや本人又その家族に精神的な苦痛が伴う可能性、将来予測の難しさなどいろいろと考えさせられました。
- ・良かった
- ・普段関わらない分野なので、今後在宅などにも活かしていきたいです。
- ・改めて認知症の現状やACPを再確認できた。
- ・よかった
- ・おもしろくなかった
- ・認知症ケアで医師からのアプローチの仕方、考え
- ・専門的な用語が出てきて、基本的な事項の理解が大変でした。
- ・もっと基本的な事項を勉強しなければならないと思いました。
- ・患者だけではなく、自分の家族のことを考えるきっかけになりそうです。
- ・薬剤師の立場での提案、コミュニケーションの参考になる
- ・興味深い話だった。住んでいるだけで健康になるところはどこか引かかる。
- ・認知症ケアについての考え方やプランの立て方などとても参考になりました。
- ・認知症治療はその方の個性や家族、環境の違いなどはあれど、まずは本人の意思の尊重が重要であると感じました。
- ・認知症発症前の検査や治療法が確立されてくるとよいと感じました。またACPではその人の価値観や生活の目標を念頭に支援していくこと大切であることを学びました。ありがとうございます。
- ・毎年、後藤先生の研修会楽しみに参加させていただいております。
- ・毎回参加させて頂いても、いつも新しい発見があり、とても勉強になります。
- ・今回もICTを活用しての認知症の捉え方、大変参考になりました。ありがとうございます。
- ・テーマと内容があまり合っていないかと思いました。
- ・薬剤師としてどのように患者さまや家族と関わっていけるか考えさせられました。
- ・後藤先生の講義はいつも勉強になります!ありがとうございました。
- ・ACPの重要性について再確認できて良かったです
- ・MCIの段階から家族と話し合うことが大事なんだと思った。非常に勉強になった。
- ・患者ご本人の希望を叶えるために家族とも一緒になって考えていくことが大切だと改めて思いました
- ・すぐ分かりやすく、まずは自分の親と今後の生き方について話してみたくなりました。ありがとうございました。
- ・認知症初期の患者様に今回の研修の内容で得た知識を活かせれば良いと思うが、実際のところ難しいと考えている。
- ・ACPは家族の考えを重視するのではなく本人だったらどう考えるかを判断基準にするべきであると感じました。
- ・大変勉強になりました
- ・後藤先生の話はとても興味深かったです。現在の認知症の治療等、最新の情報をお教えられるのはありがたいです。
- ・ACPについて、对患者さんや患者家族だけでなく自分事としても大変勉強になりました。
- ・大変参考になりました。明日からの業務に活かしていきます。
- ・「ACPは判断能力が完全に失われてからでは遅い」という先生のお言葉が印象的でした。
- ・本人の意思が聞けるうちに話し合いができるような関係性を築いていきたいと改めて感じました。
- ・先生の公演をお聞きし、認知症の予防の必要性を実感した次第です。
- ・自身ももし将来認知症になることが予測されたとしたら、治療をしたい。
- ・でも、家族がもしも将来認知症になった時にどうして受診に行くことを勧められるか?場合によっては、受診を拒否されるのではないかと心配もありました。しかし、このような研修をもっと広めてもらい、受診し易い環境になればいいと感じました。有難うございました。

●今後の研修会開催に関するご意見

- ・具体的な現場での認知症対応
- ・メンタルヘルス
- ・ACPの実践研修
- ・ACPの準備が無い利用者とその家族への導入方法
- ・多職種連携の実例報告
- ・権利擁護 虐待防止 など

●その他、ご要望・ご意見

- ・また参加したいと思います。ありがとうございました。